

E.T. (E.T. The Extra Terrestrial) 日本語音声・字幕付き

観賞日 2026年4月27日 上映時間 115分

【概要】

制作 1982年 アメリカ

監督 スティーヴン・スピルバーグ

脚本 メリッサ・マシスン

音楽 ジョン・ウィリアムズ

撮影 アレン・ダヴィオー

出演 ヘンリー・トーマス (エリオット)、ディー・ウォレス (メアリー)

ロバート・マクノートン (マイケル)、ドリュー・バリモア (ガーティ)



【あらすじ】

ある日の夜、町を見渡す山の上、宇宙人が調査目的でやって来る。しかし、山を登ってきた男たちに追われ逃げ去るが、逃げ遅れた一人が地球に取り残される。山の麓の町、少年のエリオットは見たこともない奇妙な生物を見かける。エリオットは母メアリー、兄マイケル、妹ガーティの4人家族。次の晩、エリオットはまたしてもその生物を見かけ自分の部屋に招き入れる。翌日、仮病を使って学校を休んだエリオットはその生物と仲良くなり、兄妹にもその存在を教える。E.T. (地球外生物)) と名付けられた宇宙人と兄弟の交流が進み、E.T.の実態が徐々に判明する。ハロウィーンの当日、兄弟はE.T.を宇宙に帰すため外に連れ出す。満月の夜、E.T.を乗せた自転車が空を飛ぶ。その晩、エリオットは家までたどり着くがE.T.の姿はない。兄のマイケルがE.T.を捜し出すが、E.T.は虫の息。運よく、蘇生したE.T.を連れて再び山の上を目指す少年たち。迎えに来たUFOに乗り込むE.T.。E.T.はエリオットを宇宙に誘うが、エリオットは家族がいる地球に残ることを選ぶ。

公開当時、史上最高の興行成績をあげたファンタジー映画の金字塔。心優しい少年とE.T.との心温まる交流を描くスピルバーグ・ワールド。

【解説】

■ポイント

●ジョン・ウィリアムズ (1932年～)

ニューヨーク市出身の映画音楽家。1950年代、ハリウッドで映画音楽のキャリアをスタート。スピルバーグ監督とコンビを組み「ジョーズ」

(1975

年)、「未知との遭遇」(1977年)、本作、「インディーズ・ジョーンズ」

(1981

年)、「ジュラシック・パーク」(1993年)などの音楽を担当。スピルバー

グ作品以外にも「スーパーマン」(1978年)、「スター・ウォーズ」(1977年)、「ハリー・ポッター」等の名曲を産み出した。アカデミー賞作曲賞を5度受賞した映画音楽の巨人。



●受賞 (1983年第55回アカデミー賞)

8部門にノミネートされ、4部門で受賞

音響効果賞、視覚効果賞、音響賞、作曲賞

■見どころ

●エリオットを中心にした兄弟とE.T.との交流

●満月を背景にした空飛ぶ自転車シーンは映画史に残る名シーン

●全編に流れるジョン・ウィリアムズ作曲の名曲